第107号
埼玉県杉戸町議会
令和2年5月1日発行

西近隣公園の桜

こんにちは 杉戸議会です

杉戸町議会ホームページ

2020(令和２年) 3月議会

令和2年度一般会計予算……P２
特別・企業会計予算……P６
条例……P８
補正予算・人事……P９
町政を問う（一般質問に１３人登壇）……P10
議会報告会の中止……P17
所管事務調査・意見書……P18
研修報告・表彰……P19

132億6,500万円

新しくなった巡回バス

令和2年第1回3月定例会は、2月13日から3月16日までの33日間開催しました。町長から提出された令和2年度当初予算をはじめ、令和元年度補正予算や条例改正、人事案件など26議案を審議し、すべて可決・同意しました。

また、議員提出議案として1議案を審議し、可決しました。

一般会計予算は予算特別委員会で4日間審議し、議会最終日に賛成11、反対3で可決しました。

主な注目事業

地域創生

- ○東武動物公園駅東口通り線整備事業 …… 2億8,800万円
- ○屏風フットサルパーク照明施設設置事業 …… 3,100万円
- ○杉戸町地域公共交通推進協議会補助金（巡回バス） …… 4,200万円

子育て

- ○町立幼稚園預かり保育事業 ※P8参照 …… 630万円
- ○保育園使用済み紙おむつ回収事業 …… 80万円
- ○杉戸町学校運営協議会の設置 …… 30万円

健康

- ○各種予防接種事業 …… 1億700万円

安心・安全

- ○防災行政無線デジタル化整備事業 …… 2億4,700万円
- ○町道Ⅱ級18号線雨水対策整備事業（木野川） …… 2億8,600万円
- ○町道792号線歩道橋補修工事（高野台・浅草側） ※P9参照 …… 8,400万円
- ○町道795号線歩道橋補強補修工事（高野台・日光側） ※P9参照 …… 4,400万円

環境

- ○道路照明灯整備事業 …… 475万円
- ○住宅用エネルギーシステム設置費補助金（太陽光発電・蓄電池） …… 310万円
- ○南側水路護岸補修事業（堤根・設計） …… 80万円

総括質疑 令和2年度 一般会計予算

創進 坪田光治

第5次総合振興計画の集大成は

問 令和2年度予算は第5次総合振興計画の最終年度となるが、その集大成としてどのような指針で取り組んだのか。

答 「住みごこち100％のまちづくり」の実現に向け、これまでの取り組みや成果を検証し、目標達成を目指すとともに、持続的で創造性豊かなまちづくりを目指し、予算編成に取り組みました。

問 屏風深輪産業団地進出企業に雇用促進奨励金を交付するが、雇用人数の目標は。

答 町内雇用者の目標は360人です。

問 町立幼稚園預かり保育事業では待機児童はどの程度解消されるのか。

答 保育需要の新たな受け皿として、初年度は各園10名程度による試行的な運営です。

新是新 須田恒男

まちづくりは町民との対話から

問 施政方針のディスカッションは、町民との対話から一体感をもって各施策と向き合うことが鍵となるが、具体的方針は。

答 ディスカッションの実現には、自治基本条例の「協働の原則」にそって、町民が同じ目標に向かい持っている知恵を出し合う、チームのような対等な関係を構築することが必要です。

東口通り線周辺のまちづくりでは、実践的なまちづくり専門家や地域に思い入れがある住民を主体とした「まちづくり検討委員会」を立ち上げ、旧杉戸小学校跡地の活用についても、公共施設の利用者、地域住民、民間事業者との対話を継続しながら、導入機能の内容や規模等について、更なる検討を進めていきます。

日本共産党 森山哲夫

新型コロナへの対応は

問 保育園の待機児童数は過去最高に達しているが、待機児童解消のための予算措置は。

答 定員の弾力化（定員以上の受け入れ）や町立幼稚園での預かり保育など、少しでも解消できるよう努めました。

問 高齢者福祉の拡充を図るための予算措置は。

答 福祉制度の普及に努めていますが、特に「改善を図った」というものはありません。

問 新型コロナウイルスへの感染が拡大しているが、町としての対応策は。

答 感染拡大の状況によっては、国や県と連携した対応策を予算措置も含めて検討します。

公明党 平川忠良

女性が活躍できる施策は

問 女性が活躍できる環境を整えるための施策は。

答 第5次すぎと男女共同参画プランと、女性活躍推進法に基づく推進計画を一体のものとして策定します。

問 節約と未来への投資の取り組みは。

答 事業総点検により、21の事務事業、2千957万4千円を削減し、令和2年度予算に反映しました。未来への投資として、東武動物公園駅東口通り線整備、旧杉戸小学校跡地の有効活用検討事業により中心市街地の活性化を図ります。また、町立幼稚園の預かり保育事業の実施や保育園の職員体制の充実を図り、学力向上のための総合学力調査を実施するなど、若い世代の移住促進や出生率向上を目指します。

自由民主党 窪田裕之

古利根川護岸散策路の活用は

問 町の活力創出を図るため、様々な地域の資源を活かすとともに、町の魅力を町外に発信していくことが重要です。令和2年度予算では、大落古利根川の護岸散策路等の新たな資源をどのように活かすのか。

答 大落古利根川散策路等は、埼玉県による「川の国埼玉はつらつプロジェクト」の整備が6月頃の完成予定です。完成に合わせて、「古利根川活用推進協議会」が中心となり、古川橋付近の護岸壁面への観光PRパネルの設置やカヌー教室等を実施し、新たな地域資源の活用を進め、水辺に親しむことにより、河川環境の美化活動やスポーツ文化向上のきっかけを作ることで、新たな交流人口の増加に努めます。

令和２年度 一般会計 －予算特別委員会－

３月３日・５日・６日・９日

予算特別委員会では、内容ごとに質疑応答を行い、審査しました。

歳入 主な質疑

ふるさと応援寄附金

問 ふるさと応援寄附金が、前年度より５倍増という数字が出ているがその根拠は。

答 令和元年度の実績等を考慮し、積算した結果、増額となります。

新 森林環境譲与税

問 今年度から税が投入された森林環境譲与税353万円の金額の根拠は。

答 私有林・人工林の面積、林業就業者数、平成27年国勢調査人口により配分金を積算することとなり、配分率はそれぞれ50％、20％、30％となっています。

固定資産税

問 屏風深輪産業団地の企業進出に伴う固定資産税は。

答 土地、家屋、償却資産の合計で１億６６７３万円を見込んでいます。

計画が進む東口通り線

歳出 主な質疑

新 フットサルパーク

問 フットサルパーク照明設備設置３１１２万円の内容は。

答 用水路に工事用仮設の橋を架け施工します。コンクリート柱４本に合計20台の照明を設置し、夜間の利用を可能にします。

新 東武動物公園駅東口通り線

問 整備事業の主な内容は。

答 関係権利者と協議をし、用地買収を進めます。

問 東武動物公園駅東口通り線周辺まちづくり検討業務委託料１千万円は。

答 道路のデザイン、歩道空間を含めた公共空間の利活用方法を地域住民と一緒に検討します。委託料は地域再生のプロデューサーなどの人件費等です。

新 道路照明灯

問 道路照明灯のＬＥＤ化の推進475万円の内訳は。

答 製造停止となる水銀灯170基を５ヵ年計画で更新を考えています。来年度はそのうち30基を更新できればと考えています。

新 巡回バス

問 杉戸町地域公共交通推進協議会補助金４２００万円の積算内容は。

答 町内巡回バスの運行費用として約４千万円、その他の経費として200万円計上しています。

農地耕作条件改善

問 農地耕作条件改善事業負担金335万４千円の積算根拠は。

答 農地の集約を計画しており、10アール当たり約13万円の工事費で約６ヘクタールを対象としています。総事業費780万円は、国が50％、県が27.5％、町が22.5％です。他に事業に係る事務費の町負担分との合計です。

ハザードマップ

問 洪水ハザードマップ作成業務委託料688万円とは。

答 利根川、江戸川、荒川、大落古利根川の洪水の深さや、氾濫発生から当町までの洪水が到着するまでの時間、洪水による浸水時間等をシミュレーションした内容を掲載します。作成部数は２万５千部を予定しています。

新 土のうステーション

問 土のうステーション設置とは。

答 災害用として泉地区と西地区に設置し、土のうを50袋程度ストックできればと考えています。

新 町道Ⅱ級18号線

問 町道Ⅱ級18号線雨水対策工事2億8665万円の具体的な内容は。

答 根用水路脇と郷台用水路脇にマンホールポンプを設置し、その間にボックスカルバート約98メートルを敷設します。

新 古利根川活用推進協議会

問 事業の目的と内容は。

答 埼玉県の「川の国埼玉はつらつプロジェクト」による大落古利根川の水辺空間整備、拡充を行い、町のにぎわいにつなげるということを目的として設置したものです。また、護岸を一部塗装し、町の魅力発信としてパネルの設置を行います。

新 子育て支援

問 保育園使用済み紙おむつ回収事業の内容は。

答 毎日大量に発生する使用済み紙おむつを、子育て負担軽減のため持ち帰りをなくし、施設内で一時的に保管しておくための環境整備費用となります。

問 町立幼稚園預かり保育事業とは。

答 通常の保育終了後や夏休みなどの長期休業期間を対象に実施します。定員は各園20名を予定しています。（P8参照）

新 コミュニティ・スクール

問 杉戸町学校運営協議会の設置とは。

答 第三小・泉小・高野台小をモデル校として設置し、地域とともにある学校づくりを推進します。

南側水路

問 南側水路環境整備工事設計業務委託料、堤根Ⅱ期工事の内容は。

答 堤根地内の上蔵久集会所より下流の約60メートルの未整備区間について、設計業務を実施し、コンクリート柵渠での施工を考えています。

反対 日本共産党 上田 聡

反対の主な理由は、第一に子育て支援に関わる問題です。本予算案では保育園や放課後児童クラブの待機児童を解消するための抜本的対策が講じられていません。施設拡充と人員が確保できるような処遇改善を盛り込んだ予算とすべきです。

他にも巡回バスの200円への運賃値上げ等高齢者を支えるサービスの問題、図書館運営業務の「一部」民間委託に関わる問題、地域経済活性化策が乏しい問題などを指摘して反対とします。

賛成 創進 坪田光治

予算総額は、前年度比5.8％増となっていますが、増加した大きな理由は、会計年度任用職員制度の初年度による人件費の増、また社会保障関係費などの扶助費や公共施設の改修費用などの普通建設事業費等の増によるもので、一方、物件費の削減が見られるなど内部経費の削減にも取り組む努力が見られる予算と評価します。

今後さらに少子高齢化、人口減少が進むことが予想される中で、さまざまな町の課題解決に努めることを望みます。

賛成 新是新 原田壽々子

第5次総合振興計画後期基本計画の集大成ということで、一番の課題であった活力・賑わいのある町づくりのための予算措置はどうか。計画当初との比較では人口減に対して予算増となっている。補助金等有効活用し課題と向き合ったと言える。大きく7点評価した。（内3点抜粋）

(1)東口通り線沿道整備街路事業で、公共空間のポテンシャルを高める予算。

(2)幼稚園預かり保育事業。

(3)防災意識向上のためのハザードマップの改訂。

賛成 公明党 伊藤美佐子

切れ目のない子育て支援の拡充として「公立幼稚園の預かり保育」「保育士の増員」「子育て支援アプリの導入」「保育園使用済み紙おむつ回収」また、埼玉県の沿道整備街路事業の認可を取得し「東武動物公園駅東口通り線整備事業」と「旧杉小跡地を公民連携・町民や民間事業との対話を通じての有効活用の取り組み」は杉戸町の中心市街地の活性化を図る重要な事業となります。速やかな事業推進を望み賛成討論とします。

特別・企業会計予算

総額　118億6,922万円　3.3%増

特別・企業会計予算

（1万円未満切り捨て）

区分		令和元年度（平成31年度）	令和2年度	増減率
企業会計	水道事業	16億9,897万円	15億2,608万円	10.2%減
	下水道事業	10億3,362万円	16億0,894万円	55.7%増
特別会計	国民健康保険	51億6,333万円	50億4,083万円	2.4%減
	後期高齢者医療	5億3,793万円	5億9,367万円	10.4%増
	介護保険	30億5,890万円	30億9,968万円	1.3%増
計		114億9,276万円	118億6,922万円	3.3%増

水道事業

賛成11・反対3で可決

主な事業として、宮前地内などの配水支管の布設替えや、取水井の導水管の更新を行います。

「食料品等は8%なのに水道については10%の消費税というのはあまりにも理屈が通らない」という反対討論がありました。

主な質疑

問 加入金13㎜・20㎜において県内平均との比較は。

答 13㎜で11万7489円、20㎜で15万1947円高いです。県内55団体中、どちらも高い方から4番目です。

問 緊急工事保安用消耗品費の内容は。

答 非常用飲料水袋500袋、カラーコーン30個、コーンバー15本の購入費です。

問 消費税率引き上げに伴う影響額は。

答 総額1581万6918円、1世帯当たり832円です。

問 屏風深輪産業団地内企業の加入金の見込みは。

答 全て使用開始となっていることから令和2年度はありません。

問 減免状況は。

答 東日本大震災の被害者に対する減免を続けていく予定です。減免世帯は現在13件です。

下水道事業

賛成11・反対3で可決

令和2年度より地方公営企業法を適用し、企業会計方式による予算となっています。主な事業として、むさし堤団地地内の面整備を行います。

主な質疑

問 むさし堤団地の工事内容は。

答 令和2・3年度の2ヵ年で下水道接続への面整備を行います。

問 消費税増税の影響は。

答 総額575万3383円、1世帯当たり461円です。

反対 日本共産党 森山哲夫

第1の理由は、消費税の増税による下水道料金への負担増です。

第2の理由は、地方公営企業法で定める財務規定等が適用された予算となっていることです。公営企業法適用化は、受益者負担、利用者負担の原則で、際限のない料金引き上げの体系を作ることにつながりかねないという問題があります。

賛成 自由民主党 窪田裕之

令和2年度より地方公営企業法の財務規定を適用し、企業会計方式へ移行するため、正確に財務状況が評価・判断でき、より効率的な事業運営が期待されます。

また、むさし堤団地での下水道接続への汚水管の整備等、引き続き下水道の普及に努めることを期待します。

国民健康保険

賛成11・反対3で可決

国民健康保険の広域化となって3年目となります。「国保加入者1世帯当たりの課税所得は104万2千円、国保税は12万9千円です。高すぎる国保税を引き下げるべき」との反対討論がありました。

主な質疑

問 特定健診の増えている理由は。

答 昨年は受診率を40％で見ていましたが、今回の予算では43％と見込んでいます。

問 1人当たり、1世帯当たりの課税所得、税の負担割合の推移は。

答 令和元年の1人当たりの税額は約8万円、世帯では約13万円で、負担率はどちらも12.4％です。

問 財政調整基金の見込みと、今後の見通しは。

答 基金残高は1億9千万円です。数年後にはゼロとなります。財政健全化に向けた収納率の向上や、医療費の抑制に努めます。

問 収納対策について、どのように考えているのか。

答 滞納処分をすることによって、生活が著しくひっ迫する恐れのある時は、執行停止ができます。相談機会の充実を図りながら適正な執行に努めていきます。

後期高齢者医療

賛成11・反対3で可決

平成20年4月から後期高齢者医療制度が開始され、2年ごとに保険料が改正されています。令和2年度は、保険料の所得割が7.86％から7.96％へ0.1％引き上げられます。「後期高齢者医療保険は廃止すべき」という反対討論がありました。

主な質疑

問 1人当たりの年間平均保険料と増えた額は。

答 約6万6千円で1606円増となります。

問 特例措置の廃止、縮小で負担が増える人数と金額は。

答 8割から7割軽減は、1310人で4170円、8.5割から7.75割になる方は1188人で3130円の負担増となります。

問 保険料をコンビニで支払いできるための予算があるがどのくらい利用を見込んでいるのか。

答 普通徴収の方が37％でそのうち口座振替が70％です。よって残りの30％が利用できます。

問 保険料が年金天引きの特別徴収の方と、普通徴収の方はどのような割合となっているのか。

答 特別徴収の方は63％、普通徴収の方は37％となっています。

介護保険

賛成11・反対3で可決

第7期介護保険事業計画の最終年度となります。「2019年度末基金残高は5億1千万円以上あることから、高すぎる保険料を計画期間中でも引き下げるべき」という反対討論がありました。

主な質疑

問 低所得者への軽減措置がようやく実施されることになるが、いつからになるのか。

答 当初予算では暫定的に完全実施の2分の1を計上したものです。6月議会において条例を改正してから完全実施となります。

問 第7期介護保険給付費が保険料算出の元となっているが、計画の保険給付費は実際の給付費と乖離しているのではないか。

答 計画上では約31億8千万円ですが、予算では約29億3千万円となっています。その差は約2億5千万円で7.7％の減となっています。

問 第1号被保険者の保険料が、2018年度・19年度と増えているのに20年度は減少している理由は。

答 保険料を負担する被保険者は増加していますが、消費税が10％に引き上げられたことに伴う低所得者の負担軽減によるものです。

町立幼稚園による 5月7日から 預かり保育開始!

待機児童の対応策として令和2年5月7日から町立幼稚園による預かり保育事業を実施します。対象者は保護者の就労等を理由に家庭での保育が困難な3歳から5歳までの在園児です。

主な質疑

全員賛成で可決

問 事業実施で待機児童が解消と考えているのか。

答 全ての待機児童が解消されるものではないが、就業時間が比較的短時間の保護者が幼稚園を選択することで、保育園の全体的な受け入れ枠に余裕が生まれることから待機児童解消の有効な対策と考えます。

問 定員20名の理由は。

答 預かり保育は、3・4・5歳児での混合保育で3歳児を預かる場合を優先して20名としました。

問 職員体制は。

答 預かり保育専属の幼稚園教諭免許もしくは保育士資格を持ったパートタイム会計年度任用職員を各園に1名配置し、正職員も連携しながら対応します。

問 開始時期と利用者周知方法は。

答 5月7日から受け入れ開始します。在園児や入園児の保護者に個別に資料等を配布できる機会を設けながら周知していきます。

【預かり保育事業概要】

●保育時間

①通常の月～金曜日　保育時間終了後～17：00
②長期休業期間の月～金曜日　9：00～17：00

●利用区分

（1）常時利用
・保育料：無償
・実　費：1日100円程度（おやつ・教材）

（2）一時利用
・保育料：①通常の月～金曜日
保育時間終了後～17:00　200円
②長期休業期間の月～金曜日
9:00～17:00　450円
・実　費：1日100円程度（おやつ・教材）

図書館協議会を設置

図書館の運営での図書館サービスについて館長に意見を述べることのできる機関、図書館協議会を設置します。

主な質疑

全員賛成で可決

問 8名以内の委員の選定方法は。

答 学識経験者は図書館に精通している方、公募は募集要項を作成し委員にふさわしい方を選びます。

問 生涯学習審議会との関係は。

答 来年度は図書館の基本方針策定を中心に考えているので、委員の意見等を勘案し検討します。

問 協議会の開催回数を年4回予定しているが、研修や視察の実施は。

答 図書館運営については、図書館協議会で審議することになります。

カルスタすぎと

令和元年度一般会計補正予算（第6号）

今回の補正予算は、5千392万2千円を増額するもので、これにより総額が128億8856万2千円となりました。

全員賛成で可決

主な質疑

放課後児童クラブ

問 運営事業の報酬の減額理由は。

答 少ない職員で運営していたことが原因で、職員募集しても集まらず、嘱託支援員を含めて今年度は現在で10名退職しました。

アグリパークゆめすぎと育苗施設

問 催芽機更新工事の理由は。

答 全体5台中2台が故障、3台稼働しているが経年劣化で今後故障が懸念されることから更新工事を実施します。

問 12月議会の補正予算で対応できたのでは。

答 12月24日に農協から町に要望をいただき、3月の補正予算で計上しました。

催芽機

東武動物公園駅東口通り線

問 用地交渉など整備事業の進捗状況は。

答 用地買収の面積で1月末、約12％の用地を契約したところです。今年度は約24％を目標にしています。

令和元年度一般会計補正予算（第7号）・令和2年度一般会計補正予算（第1号）

令和2年度に予定していた町道792号線浅草側歩道橋補修工事・町道795号線日光側歩道橋補強補修工事が、国の補正予算で令和元年度中に補助金がつく見込みが立ったため、令和元年度の事業として追加すると同時に、令和2年度の事業から削除しました。

また、7号補正予算には、国のGIGAスクール構想のためのLAN整備工事予算が計上されました。

全員賛成で可決

主な質疑

GIGAスクール構想

問 国は令和5年度までに児童生徒1人1台端末の整備をするとしていますが、町における整備の見通しは。

答 端末整備については、令和2年度に国の補助金を活用して小学5・6年生と中学1年生分のうち753台分を整備する予定です。その後についても可能な限り国のロードマップに基づき整備を進めていきます。

問 「教育のICT化」や「1人1台の学習用端末」が子どもや教育に及ぼす効果や影響は。

答 効果は、授業への関心や意欲がより喚起されることや個別最適化された学習が進むことなどです。影響については、授業がよりわかりやすくなることが挙げられます。

町道792・795号線歩道橋（高野台、東武線上）

問 工事終了時期は。

答 町道792号線浅草側歩道橋は令和2年12月予定です。町道795号線日光側歩道橋は令和3年2月予定です。

問 補正予算による工事の効果は。

答 約1カ月程度、工事完了が早くできると見込んでおり、財政効果は3178万円、町負担が削減できました。

町道792号線歩道橋（通学路）

人事

副町長
田中（たなか） 秀幸（ひでゆき） 氏（新任）

人権擁護委員
螺良（つぶら） 多加子（たかこ） 氏（新任）

町政を問う

3月定例会の一般質問は、2月19日、20日、25日に13人の議員が登壇し、福祉、防災、学校・社会教育、子育て、土木、まちづくりなどについて、町の考えをただしました。

質問項目は下記のとおりですが、その一部の質問と答弁を要約してお知らせします。

なお、他の質問内容を知りたい場合には、町議会ホームページの「会議録の検索と閲覧」をご利用ください。3月定例会の会議録は、5月下旬に掲載予定です。

○森山哲夫議員
1．豪雨災害から住民の生命・財産を守るには
2．旧杉戸小学校跡地の活用（基本方針案）は

○上田聡議員
1．次期町内巡回バスでの要支援・要介護者等の取り扱いは
2．住宅・店舗リフォーム助成制度は
3．図書館については
4．公立小中学校への「１年単位の変形労働時間制」の導入は

○平川忠良議員
1．第２期子ども・子育て支援事業計画
2．令和２年度のまちづくりは
3．杉戸町の情報発信力強化は

○石川敏子議員
1．子育て支援に対する町長の意気込みは
2．放課後児童クラブ職員の処遇改善は図られるのか
3．介護保険料は引き下げを
4．危険個所の解消を

○原田壽々子議員
1．子どもの体力の低下は
2．町の公園及び町有財産の活用を
3．新型コロナウイルスの対応は

○宮田雄一議員
1．子ども会のあり方は
2．杉戸屏風深輪産業団地に駐車場の整備を

○坪田光治議員
1．公金支払いのキャッシュレス化は
2．ＧＩＧＡスクール構想への対応は

○須田恒男議員
1．がん検診の受診率引き上げ策は
2．各小中学校の樹木剪定計画は
3．安心な道路を
4．避難対策は

○稲葉光男議員
1．道路整備推進を
2．学力向上は
3．町の現状と課題は

○仁部前崇議員
1．西仮グラウンドについては
2．庁舎の防犯は

○野口俊彦議員
1．魅力あるまちづくり～ 都市計画マスタープランの見直しは
2．成人式のあり方は

○窪田裕之議員
1．都市計画道路　下野久喜線の早期実現を
2．今後の産業団地開発のビジョンは

○大橋芳久議員
1．東武動物公園駅東口通り線の拡幅事業と旧杉小跡地の開発は
2．これからの子ども会のあり方は

豪雨災害等に対応した広域避難計画は

引き続き検討を進めていきます

森山哲夫議員

問　杉戸町地域防災計画には、「町は町域を超える広域避難を円滑に実施するため、県や市町村間で整合性のとれた避難方針や避難シナリオ、避難計画等を策定し、実施体制を整備する」と明記されている。町は、地域防災計画で定めたこの方針を具体化していく考えはあるのか。

答　**くらし安全課長**　昨年の台風19号の経験や加須市での対応等を踏まえ、引き続き検討を進めていきます。

問　地域防災計画では、「広域避難を円滑に実施するための計画等を策定する」と明記されているが、この間、どのような検討を行ってきたのか。

答　**くらし安全課長**　地域防災計画での位置づけは、あくまでも検討事項ということであり、これまで、積極的な調査研究等については進めていない状況です。

問　今まで検討すらしてこなかったわけだが、令和2年度中には地域防災計画そのものを改訂することになっているのだから、広域避難の件については、もう少し具体的な形で盛り込めるようにすべきではないか。

答　**くらし安全課長**　地域の特性に沿った実効性ある避難行動が速やかに実施できるよう、取り組んでいきます。

▼「逃げ遅れ」はゼロに

▲　果たして利用者増となるか　新生あいあい号

巡回バスは、要介護者等も無料に

少し時間をいただきながら検討します

上田聡議員

問　町が示した次期巡回バスの概要では、障がい者は特別乗車証により無料とする一方、要介護者等は一般運賃の半額の100円としている。要介護者等と障がい者との間に生活上のハンディという点で差異は無く、両者の間に運賃の差を設けることは、福祉の理念に照らしても整合性が無い。要介護者等も障がい者と同じく、特別乗車証により無料とすべきではないか。

答　**住民協働課長**　利便性の向上を目指してコース数と便数を増やし、人件費等の運行経費が大幅に増加している状況で、長期にわたり安定的な巡回バスの運行を継続するために、利用者には一定の受益者負担をお願いします。しかし、障がい者や要介護者等については、負担軽減を図るために通常料金の半額という減免措置を講じました。

問　「整合性のあるバランスの取れた人権保障」という観点から、そして、「移動の自由」という「交通権の保障」の観点から、要介護者等についても無料化を検討していただきたいと思うが、町長の見解は。

答　**町長**　議員の言うとおりだと思いますので、時間をいただきながら検討していきたいと思います。

旧南幼稚園跡地の活用は

公園・広場等で再利用していく方向性です

平川忠良議員

問 旧南幼稚園跡地の活用について、町は売却はせず、地域住民と話し合い、検討していくとしていたが、進捗状況は。

答 **財産管理課長** 地元代表の方で構成される検討組織（地元議員、区長関係者、老人クラブ代表、子ども会等）と協議を行いながら活用内容を決定することになりました。

12月8日、地元の検討組織、南幼稚園跡地活用検討協議会の初会議で、公園・広場等で再利用していく方向性とそれに伴う旧園舎の解体についての了承をいただき、来年度は具体的な整備内容を早期に決定します。

問 第2回目が2月22日に開催されると聞いているが、審議内容は。

答 **財産管理課長** 駐車場の設置や既存の遊具の再利用、避難所としての利用など要望を踏まえ、基本的な整備プランの協議を行う予定です。

フードバンク事業

問 「フードパントリー活動」、すなわち食品ロス解消とともに、食料品を杉戸町内の希望するひとり親家庭に無料で届ける活動を令和2年1月に実施すると聞いていたが、実施状況は。

答 **子育て支援課長** すぎと居場所づくり応援隊が実施し、57件の申し込みがあり、全員に食品等を配布しました。

▼ 旧南幼稚園の建物は解体へ

▲ 保育園に入れるかな？

待機児童を出さないという町長の「意気込み」は

待機児童を出さないという気持ちは持っています

石川敏子議員

問 昨年に続き年度当初から、保育園の待機児童が20人も出る状況です。子育て日本一と言いながらこんなに待機児童が出ているのに、何の手も打たずに放置するのか。町長の待機児童を出さないという決意を聞きたい。

答 **町長** 待機児童を出さないという気持ちは持っています。そのため職員体制の充実や幼稚園の預かり保育などの実施をすることにしました。

問 待機児童は0歳から2歳児です。町長が絶対に待機児童は出さないという立場で、旧内田保育園の活用も含め何度も提案してきたが。

答 **町長** 旧内田保育園は直すにはお金がかかる上、すぐにはできないことから、幼稚園の預かり保育としたところです。

問 旧内田保育園を活用するためには、どのくらい費用が掛かると試算しているのか。

答 **子育て支援課長** 建物の改修費用に3千800万円、備品などの経費に約1千万円、その後、開所すると年間で運営費用に6千900万円かかります。

問 その費用を出すかどうかは町長の判断ではないか。

答 **町長** 改修費用だけではなく、開園すれば人件費もかかります。どうすればいいのだと、私は逆に聞きたいです。

子どもの体力低下と公園の利活用について

新たな視点は必要です

原田壽々子議員

問 子どもの体力が70年代以降低下している。外で自由に体を動かす環境が激減する中で、学校での地域間の配慮とは。

答 **学校教育課長** 体育の授業において、人数による地域格差が運動量の差にならないよう配慮しています。

問 就学前児童の体力低下の弊害は。

答 **子育て支援課長** 経験の差による水道の蛇口がひねれない、段差につまずく等見受けられ、意欲の低下、食への関心の低さにつながります。

問 安心して体を動かす環境や機会をどう与えられるか。町内78カ所の公園は、昨今、防犯上も子どもだけで遊ばせるには危険である。高齢者向けの公園にしていくことで高齢者の外でのコミュニティと健康寿命の促進につながり、さらに子どもが地域の方に見守られながら遊べる相乗効果が期待できる。新しい公園を創造する考えは。

答 **都市施設整備課長** 新たな視点は必要です。国交省のウォーカブル推進都市（居心地の良い空間づくり）にエントリーしました。

問 介護予防事業としての公園の利活用は。

答 **高齢介護課長** 介護予防につながるエビデンスの確立があれば、検討の余地があると考えます。

▼ 78カ所の公園は町の宝。有効活用を！

▲ 子どもたちのための子ども会

宮田雄一議員

問 杉戸町全域の「子ども会」が、存続を続けることが難しい状況となっている。現状の把握と今後の対応は。

答 **社会教育課長** 児童の減少により、子ども会の運営が難しいことは把握しています。特に泉地区子育連については、解散するとの報告を受けています。

子ども会の活動について

単位子ども会が活動しやすい環境に努めます

今後は、単位子ども会の活動に集中できる様に、町子育連等の行事を極力減らし、子どもたちや保護者の皆様の負担軽減を図っていきます。

屏風深輪産業団地路上駐車について

問 深夜・早朝に近隣のコンビニエンスストアや路上駐車で時間調整をしている運送車両が増えているが、対策は。

答 **商工観光課長** 杉戸深輪産業団地企業連絡会の会員企業に対して、配送業者や従業員の方々などに向け、駐車マナー等にご協力をお願いしているところです。

問 休日などフットサル場やスケートボード場も駐車場が少なく、路上駐車が大変多いが、対策は。

答 **都市施設整備課長** 新たな駐車場整備は想定していませんが、エコ・スポいずみ等の駐車場を案内し、既存施設を有効活用して対応します。

GIGAスクール構想への対応は

補助金を活用し速やかに整備していきます

坪田光治議員

問 昨年末、政府は小中学校で1人に1台のパソコンやタブレット端末の配備と、各教室での高速・大容量の通信ができるネットワークを一体的に整備する「GIGAスクール構想」を打ち出したが、町の対応は。

答 教育次長 国からの地方財政措置や「GIGAスクール構想」の補助金を活用し、ICT環境の整備を着実に進め、杉戸の子どもたちの教育環境に遅れが生じることのないようにしていきます。

公金支払いのキャッシュレス化は

問 現在、民間における支払いはクレジットカードや電子マネーによるキャッシュレス決済が飛躍的に増えているが、行政ではキャッシュレス化が進んでいない。利便性向上のため、町でも公金支払いのキャッシュレス化を進めていくべきだと考えるが、町の見解は。

答 会計管理者 クレジットカードや電子マネーによる納税はメリットがあるものの、行政にとっては手数料の問題やシステム利用料等のコストがかかるなどの課題があり、導入には至っていません。

しかしながら、令和2年度よりペイビースマホ決済アプリを利用した支払サービスの導入等を予定し、利便性の向上に努めたところです。

▼ 遅れている整備

教育用コンピューター1台当たりの児童生徒数

順位	都道府県	人
1	佐賀	1.8
2	鹿児島	3.3
3	高知	3.6
…	…	…
45	埼玉	7.4
46	千葉	7.4
47	愛知	7.5
参考	杉戸町	7.8

※文部科学省　2018年度調べ

安全に走・歩行できる道路を

実施可能な安全対策を進めます

▲ 高野台小児童の通学路

須田恒男議員

問 I級1号線（下野地内・御成街道から葛西橋間）の道路拡幅は。

答 都市施設整備課長 この路線は、久喜市につなぐ全長305m・幅員6mの道路です。そのうち66mの区間が未整備で、約4.5mと狭くなっており、交通量も多いことから拡幅の必要性は認識していますが、他路線の工事等があり、現段階での早期工事は難しい状況です。

問 この区間の整備費は。

答 都市施設整備課長 概算で、約4千万円強を見込んでいます。

問 御成街道沿いの理髪店から高野台に向う小学生の通学路を、朝の時間帯は時間指定の車両通行禁止にする考えは。

答 くらし安全課長 多くの車両が通行していることは認識していますが、通行禁止については警察と協議します。

問 この通学路の先で交差する交差点では、事故発生もあり、町も看板等での注意喚起を行ったが、さらなる対策をする考えは。

答 くらし安全課長 この道路全体を通じ、現状確認を行い必要な対策はしていきます。

問 具体的に、「交差点あり」「事故多発」などの看板をつける考えは。

答 くらし安全課長 必要、有効であれば警察と協議して進めます。

杉戸町の現状と課題は

将来を見据えた施策、事業を積極的に推進することです

稲葉光男議員

問 副町長は杉戸町の魅力・現状や、今後の課題と方向性をどう考えているのか。

答 副町長 水と緑に囲まれ、自然に恵まれた美しいところが魅力であり、また、宿場町として400年の歴史を肌で感じられます。イベントでは日本一の古利根川流灯まつり、施設では広大な敷地内での農産物直売所や多彩な施設がある道の駅アグリパークゆめすぎとが誇れます。

課題については、いかに町の活力低下に直結する人口減少に歯止めをかけ、若い世代の移住、定住促進や出生率の向上など、将来を見据えた施策、事業を積極的に推進することです。

学力向上

問 県の学力テストの結果を受け、その検証は。

答 学校教育課長 小学校から中学校への学習のつながりと個々への対応が課題であると考えます。

小学校段階の各学年で、身に付けるべきことを確実に身に付けているかが、中学校における学力向上につながります。

県学力調査の出題傾向も思考力を問うものが増えていますので、主体的・対話的で深い学びへの授業改善に取り組み、思考力・判断力・表現力等を伸ばす授業を展開することに努めていきます。

▼ 役場から見た杉戸の街並み

▲ 償還を令和２年度に終了する西仮グラウンド

仁部前崇議員

問 所管の教育委員会は、どのように捉えているか。

答 教育次長 土地の用途変更の際は、関係者への丁寧な説明が必要。民間事業者等に譲渡する場合は、得られる財源を教育予算に優先的に充当するように要望しています。

問 町有財産活用検討委員会での検討状況は。

西仮グラウンドの土地評価額は

公示・基準地価格から約20～22億円です

答 財産管理課長 西幼稚園を中心とした子育て支援施設整備候補地、そして残地は売却するなどの意見になっています。

問 個別施設計画での検討状況は。

答 財産管理課長 西幼稚園関係のほかには、現時点では想定している施設はありません。

問 建築物の用途制限の変更は可能なのか。

答 都市施設整備課長 手続きを踏めば制度上は可能です。

問 幼稚園、老人施設、運動場等に分筆は可能か。

答 都市施設整備課長 目的外で利用するのであれば、関係権利者への丁寧な説明が必要です。

問 償還終了後の名称は。

答 教育次長 現時点では、まだはっきりと決まっていません。

問 財産価値の高い場所をグラウンドとして継続利用することが、町のためになるか。

答 町長 旧杉小跡地の活用と違うものを前向きな形で進めていきます。

都市計画マスタープランの見直しは

基本的な方針を見直します

問　都市計画マスタープランは、都市及び地域の整備方針を示し、町の将来像を描く重要な計画である。今後、2ヵ年かけて見直しを図るが、これまでの成果と課題は。

答　都市施設整備課長

成果は、杉戸屏風深輪産業団地や屏風フットサルパークの整備、また東武動物公園駅東口通り線の事業化や下水道の整備などです。課題は、新市街地の拡大や都市計画道路の一部未着手、また人口減少や大規模災害への対応。更には、空き家や空き地の解消などです。

問　人口減少対策として、新市街地の拡大や市街化調整区域の規制緩和など計画に盛り込む考えは。

答　都市施設整備課長

人口減少社会が到来し、都市が縮小傾向にあり、新たな宅地開発は困難です。市街化区域内の土地の有効活用を図り、人口密度を上げていく必要があります。

問　見直しのポイントは。

答　都市施設整備課長

法令や国の方針などを踏まえ、町の総合振興計画や関連計画との整合性を図りながら、都市の活力を高め、魅力あふれる町とするため、コンパクトプラスネットワーク、復興まちづくりの視点などを含め、都市計画に関する基本的な方針を見直します。

野口俊彦議員

▼　魅力あるまちづくり！

▲　下野久喜線予定地

下野久喜線の早期実現を

久喜市と情報交換し見極めていきます

窪田裕之議員

問　下野久喜線は高野台地区と久喜駅東口とを結ぶ都市計画道路です。平成元年に都市計画決定されてから、整備が進んでいない道路です。

平成27年に圏央道が開通し、久喜市では圏央道までの道路整備が進み、圏央道へのスマートインターチェンジの設置に向けた調査や、宮代町では和戸横町地区産業団地の整備が進む等、周辺市町での開発が着々と進んでいる。状況の把握や久喜市との情報交換は行っているのか。

答　都市施設整備課長

下野久喜線は幅員16ｍ杉戸町側は延長約650ｍの都市計画道路です。この周辺の都市計画道路の各市の整備状況は把握しています。久喜市とは、久喜東停車場線の整備の進捗状況など情報交換を行っています。

問　杉戸高野台地区と久喜駅を結ぶ道路が開通すれば、利便性の向上や商業の活性化等投資効果が高い。早期実現を要望するが、町の考えは。

答　町長　下野久喜線については、杉戸西地区と久喜駅東口地区を結ぶ重要な道路と考えており、杉戸町民の利便性も高まると認識しています。

これから久喜市と情報交換等行いながら、この先を見極めていきます。

東口通り線と旧杉小跡地をどのようにしたいのか

住民主導のまちづくりをしたい

大橋芳久議員

問 事業費の総額は。

答 **整備推進室長** 合わせて約39億5千万円を見込んでいます。

問 設備をグレードアップした場合は。

答 **整備推進室長** 国の交付金で街路事業の制度があるので、アプローチしていきます。

問 補正予算でまちづくり業務委託が計上されたが、その内容は。

答 **整備推進室長** リノベーションまちづくりに特化し、国土交通省などに実績が認められた会社に委託し、実践的なまちづくりを考えています。

問 新しくなった商店街で商売をしたいという人はいるのか。

答 **整備推進室長** 地域を盛り上げようと活動している方がいるので、関係権利者などと連携してビジネス展開していくように働きかけていきます。

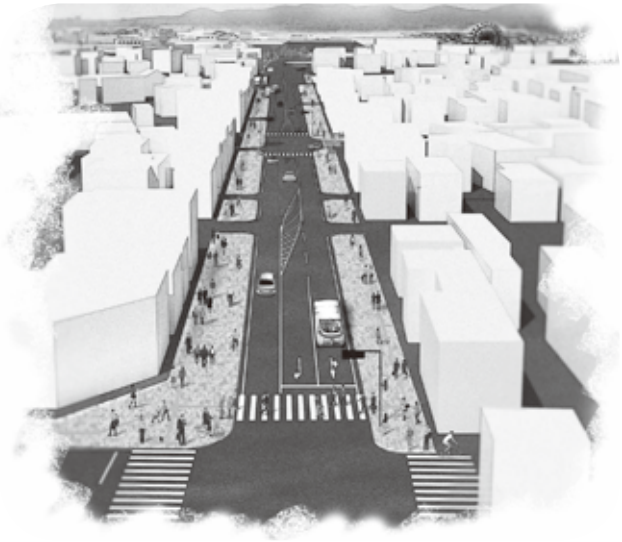
問 商工観光課として独自な考えはあるのか。

答 **商工観光課長** 基本方針に沿って、話し合いながら進めていきます。

問 関係課が意見を出し合っているように見えず、担当課に押し付けているように見える。縦割り行政の弊害がでているのでは。

答 **副町長** 職員一人一人が知恵を出し合いながら、総合力で進めることが成功に導くと考えます。

▼ 生まれ変わる駅前通り（駅前広場）



第14回 議会報告会の中止について

5月16日(土)に開催を予定していました「第14回議会報告会」は、不特定多数の方の参加が見込まれることから、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止いたします。

総務建設常任委員会

1月23日、24日に視察研修を行いました。調査の結果、委員会としての意見は次の通りです。

ファシリティマネジメントについて ～千葉県佐倉市～

① ファシリティマネジメントを取り組むための組織（資産（施設）やコストを一元的に管理・運営できる体制）を整え、インハウスエスコ（ESCO事業）等に取り組めるように調査研究すること。

② 公共施設の改築計画において、資源の見通しを含め年次計画を明らかにするように検討すること。

③ 施設改修を検討する場合には、選択と集中や民間の協力を得るなど限られた予算の効果的な使い方を検討すること。

公共交通（循環バス・デマンドバス）について ～茨城県古河市～

① 巡回バスだけでなく、人口密度の高い地域では循環バス方式、低い地域ではデマンド交通方式を導入し、両方式の連携による公共交通サービス網を構築するなど、各地域の特性に見合った公共交通サービスの導入について調査・研究すること。

② 巡回バスの東武動物公園駅ロータリーへの乗り入れについて検討すること。

③ 上記の公共交通の見直しについて、民間業者との意見交換を進めていくこと。

教育厚生常任委員会

1月31日に視察研修を行いました。調査の結果、委員会としての意見は次の通りです。

駅前こどもステーションについて ～茨城県龍ケ崎市～

① 働く保護者への応援となる具体的な施策と、保育園の待機児童の解消に向けた施策を早急に行うこと。

② 保護者の意見・要望を確認し、既存施設や旧杉小跡地の活用に、こどもステーション設置について、費用対効果も含めて検討を図ること。

中高年の引きこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書

全員賛成で、国に提出

従来、ひきこもりは主として若年・青年層の課題としてイメージされてきた。しかし最近では、就職氷河期世代も含め中高年層に及ぶ大きな社会問題としてクローズアップされてきている。

政府が中高年層を対象に初めて実施した全国規模の調査が、昨年3月公表されたが、40～64歳のひきこもりが全国で約61万人にのぼるという推計は社会に大きな衝撃を与えた。ひきこもり期間の長期化や高齢化により、高齢者の親とともに社会的に孤立するケースも少なくない。

政府としては、これまで都道府県・政令市への「ひきこもり地域支援センター」の設置や「ひきこもりサポーター養成研修・派遣事業」を行ってきたが、今後は、より身近な場所での相談支援の実施や社会参加の場の充実など、就職氷河期世代も含めた中高年のひきこもりに対して、これまで以上に実効性ある支援と対策を講じるべきである。

そこで政府におかれては、中高年のひきこもりは、個々人やその家族だけの問題ではなく、社会全体で受け止めるべき大変重要な課題と捉え、下記の事項について早急に取り組むことを強く求める。

記

1 より身近な場所での相談支援を行うため、自立相談支援機関の窓口にアウトリーチ支援員を配置し、同行相談や信頼関係の構築といった対本人型のアウトリーチ支援を実施すること。また、自立相談支援の機能強化に向けたアウトリーチ等を行うための経費については、新たな財政支援の仕組みを創設すること。

2 中高年のひきこもりにある者に適した支援の充実を図るため、市区町村による「ひきこもりサポート事業」のさらなる強化を図ること。具体的には、中高年が参加しやすくなるような居場所づくりやボランティア活動など就労に限らない多様な社会参加の場の確保。さらには家族に対する相談や講習会などの取り組みを促進すること。

3 「8050問題」など世帯の複合的なニーズやライフステージの変化に柔軟に対応できるよう、「断らない相談支援」や「伴走型支援」など、市区町村がこれまでの制度の枠を超えて包括的に支援することが出来る新たな仕組みを構築すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

議会力・議員力の発揮へ
『地方議会改革を実践する』

講師　寺島 渉

埼葛町村議会議長会　議員研修会
1月17日「宮代町立図書館」にて開催

長野県飯綱町の前議会議長　寺島　渉　氏を講師に迎え、「議会力・議員力の発揮へ『地方議会改革を実践する』」と題し、自身が飯綱町議会において実際に取り組んできた議会改革を基に講演が行われた。講演の主な内容は次のとおりである。

当時の飯綱町の置かれていた状況を察すると、飯綱町議会として議会改革を行うことは必然的であったと思われるが、住民からの厳しい議会への意見を受け止め、飯綱町議会は10年の期間をかけて住民の求める議会となるべく改革が進められた。その間、寺島氏は平成21年から平成29年までの8年間、議長として議会改革のリーダーシップを執った。

改革内容としては、まず平成20年に「議員間の自由討議」を導入した。そして、めざす議会像とその改革課題を整理した上で、議会だよりにて議会改革の実行を宣言し、その後も着実に成果を上げられた。平成24年には議会基本条例を制定し、さらに議員白書や議会の出前講座、政務活動費支給条例、タブレット導入、町民講座、模擬議会や中学生議会の開催などの改革を実行した。

寺島氏は、住民から信頼される新しい地方議会として、追認機関から脱し、議会の権限と役割、責任を果たすことや、「チーム議会」として政策力を向上させ住民福祉の向上へ町長と善政競争を進めること、議会への住民参加を広げて住民の自治意識を高め、議会を「見える化」することを提言された。

講演する 寺島 渉 氏

自治功労者表彰

全国町村議会議長会

町村議会議員特別表彰
濵田　章一　議長

埼玉県町村議会議長会

在職12年以上
勝岡敏至　元議員

埼玉県町村議会議長会

在職20年以上
稲葉　光男　議員

在職20年以上
石川　敏子　議員

在職20年以上
宮田　利雄　元議員

議会を傍聴して

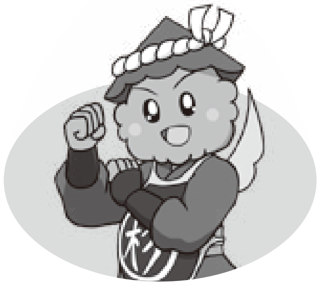
堤根在住 平川康成さん

議会は自分に縁が遠いと思っていたが、昨年は議会を2回、今年は委員会を2回傍聴した。

質疑や回答のやり取りを文字ではなく、肉声で聞くことができたことは非常に有意義だった。

町の最新の状況、将来の姿をいち早く入手できること、質問する議員の姿勢、回答する当局の姿勢が解る。

町政は住民が主役。協働・共同・共生・住み心地の良い杉戸の実現のために、少しでも議会に興味を持ってみませんか。



3月定例会 傍聴者数

（本会議）

2月	13日	3人
	14日	0人
	19日	13人
	20日	10人
	25日	2人
	26日	2人
3月	11日	0人
	16日	0人

（常任委員会）

2月	28日	総務建設 2人
		教育厚生 3人

（予算特別委員会）

3月	3日	1人
	5日	0人
	6日	0人
	9日	0人

6月定例会は、5月28日(木)開会予定です。

令和2年 第1回 杉戸町議会定例会　議員別表決結果一覧

○印…賛成 ×印…反対 欠印…欠席 除印…除斥 棄印…棄権 ※議長は表決に参加しないため、「－」となっています。

	会派名	新是新			創進			日本共産党			公明党		自由民主党	無所属		
	議案名 ＼ 議員氏名	仁部 前崇	須田 恒男	原田壽々子	大橋 芳久	坪田 光治	宮田 雄一	森山 哲夫	石川 敏子	上田 聡	平川 忠良	伊藤美佐子	窪田 裕之	稲葉 光男	野口 俊彦	濵田 章一
町長提出議案	令和元年度杉戸町一般会計補正予算（第６号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	－
	令和元年度杉戸町水道事業会計補正予算（第２号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	－
	令和元年度杉戸町公共下水道事業特別会計補正予算(第３号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	－
	令和元年度杉戸町国民健康保険特別会計補正予算(第３号)	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	欠	○	○	○	－
	令和元年度杉戸町後期高齢者医療特別会計補正予算(第２号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	－
	令和元年度杉戸町介護保険特別会計補正予算（第４号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	－
	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	杉戸町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	杉戸町監査委員に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	杉戸町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	副町長の選任について	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	－
	杉戸町税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	杉戸町町営住宅条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	杉戸町手数料徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	杉戸町立幼稚園預かり保育料徴収条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	杉戸町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	－
	杉戸町立図書館条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	杉戸町の特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	令和２年度杉戸町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	－
	令和２年度杉戸町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	－
	令和２年度杉戸町下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	－
	令和２年度杉戸町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	－
	令和２年度杉戸町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	－
	令和２年度杉戸町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	－
	令和元年度杉戸町一般会計補正予算(第７号)	○	○	○	○	○	○	棄	棄	棄	○	○	○	○	○	－
	令和２年度杉戸町一般会計補正予算(第１号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議員提出議案	中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－

編集後記

新型コロナウイルスの影響で町内でも多くのイベントが中止や延期になりました。また、図書館や公民館が臨時休業となりました。

特に今回は、卒業・入学シーズンの3～4月だったため、幼稚園・小中学校の卒園・卒業式、入園・入学式が規模を縮小して行われました。例年ですと、私たち議員も出席し、お祝いの言葉を読ませて頂きながら、児童・生徒や保護者の皆さんの淋しい顔や嬉しい顔を見て感動を覚えていたものですが、今年はたいへん寂しい春となっています。

一日も早く収束して、また皆さんの笑顔が見られることを心待ちにしています。

議会に関するご意見・ご要望はこちらまで ► E-mail gikai@town.sugito.lg.jp

発行・杉戸町議会 編集・議会だより編集委員会 ☎〇四八〇(33)一一一一
〒三四五―八五〇二 埼玉県北葛飾郡杉戸町清地二丁目九番二九号